

## 新任医師のご紹介



氏名:入谷 哲司(いりたに てつじ)  
診療科:形成外科  
役職:医長  
専門分野:形成外科全般  
認定:日本形成外科学会認定医  
趣味:熱帯魚  
コメント:宜しくお願いいたします。



氏名:岡本 義久(おかもと よしひさ)  
診療科:小児科  
専門分野:小児科一般  
認定:PALS(小児二次救命処置法)  
プロバイダー  
NRP(新生児蘇生)プロバイダー  
趣味:子供たわむれること  
コメント:僕も子育て奮闘中です。何でもご相談ください。



氏名:藤原 礼(ふじわら れい)  
診療科:産婦人科  
役職:部長  
専門分野:産婦人科全般  
認定:日本産科婦人科学会専門医  
趣味:スキー、育児、競馬  
コメント:何でも気軽に相談してください。



氏名:三上 正史(みかみ まさふみ)  
診療科:皮膚科  
役職:医長  
専門分野:一般皮膚、レーザー皮膚外科  
趣味:サッカーゲーム  
コメント:夏に向けて注意したいトラブルは「水虫」です。皮膚のトラブルでお困りの方はご相談ください。

氏名:外山 大輔(とやま だいすけ)  
診療科:小児科  
役職:医長  
専門分野:小児血液腫瘍  
認定:小児科専門医  
日本小児血液学会員  
日本小児がん学会員  
日本血液学会員  
骨髄バンク調整医師  
趣味:ドライブ、散歩  
コメント:病気の子供は少ないほうが良いですが当院の小児科の活性化に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願いします。

## 糖尿病セルフケア教室のご案内

糖尿病セルフケア教室は、  
参加している方々がセルフケアできるよう  
サポートする教室です。

どうぞ1年間通しての参加をお待ちしております。  
皆勤賞の方には当院医師より「修了証書」をお渡ししています。  
糖尿病に関心のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。  
(予約は必要ありません。)

糖尿病セルフケア教室では「糖尿病セルフケアBOOK」に基づき講義を行っています。当院1階売店にてお買い求めいただけますので、ご購入の上ご参加ください。

なお、「糖尿病セルフケアBOOK」は今年改訂いたしました。新しいものを元に講義を進行させていただきますので了承ください。

日程/6月25日(木)・7月23日(木)・9月24日(木)・10月22日(木)・11月26日(木) 会場/新棟地下会議室

詳細は当院ホームページをご覧ください。お問い合わせ先 TEL.045-921-6111



※第1版をお持ちの方も参加できますので、是非お越しください。  
みなさまに教室にてお会いできることを心よりお待ちしております。

【診療科目】内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、人工透析、人間ドック、特定健診

【受付時間】平日:8:00~12:00(診察開始9:00より) 12:30~16:30(診察開始14:00より)  
土曜:8:00~12:00(診察開始9:00より)  
休診:日曜・祝日

【24時間救急応需】救急の場合は24時間体制で、隨時対応いたします。  
来院する前に、必ずお電話でご確認ください。

あさひだより Vol.2 2009.6  
発行/横浜旭中央総合病院 広報委員会  
〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台4-20-1  
医療法人明芳会 横浜旭中央総合病院  
TEL:045-921-6111 FAX:045-921-4931  
横浜旭中央総合病院で検索  
URL: <http://www.ims.gr.jp/asahi-hp/>



## 4月より山野賢一(整形外科)が副院長に就任いたしました

山野副院長より専門の整形外科領域で注目される「ロコモティブシンドローム」について解説させていただきます



横浜旭中央総合病院  
副院長 山野 賢一

整形外科の分野で「ロコモティブシンドローム(症候群)」という概念が注目を集めています。これは加齢や運動不足などによって運動器の機能障害がおこり、歩行・バランス能力が低下して、寝たきりなど要介護状態になる危険性の高い状態を示す名称です。要因としては骨粗鬆症に伴う骨折、変形性関節症、脊椎の変形、さらにこれに伴う神経障害などが挙げられます。寝たきりになる原因には「認知症」「脳卒中」などが知られていますが、「ロコモティブシンドローム」はそれに匹敵するものとして新たに注目されています。現在、運動器の不安定状態は、①目を開いた状態で、片脚で15秒未満しか立っていられない、②いすから立ち上がりて3メートル先の目印を回り、再びいすに座るテストで11秒以上かかる、のいずれかに該当することなどで評価しています。対処として原因疾患の手術療法、リハビリテーション、薬物療法などが行われますが、自分にできる適度な運動を心掛けて身体機能を高めること、転倒防止のための環境整備が重要です。

## \*\*\* 副院長にQ&amp;Aました! \*\*\*

Q. 医師を目指したきっかけは?

A. 特に強い動機はなかったのですが、やりがいのある職業と思っています。

Q. 得意とする診療は?

A. 股関節疾患、特に大腿骨頭壊死症、人工関節置換術など

Q. 趣味は?

A. 車、赤ワイン、最近は行ってませんが旅行

Q. 好きな食べ物は?

A. ラーメン、イタリア料理

Q. 苦手な食べ物は?

A. なんでも食べられます。

Q. 好きな映画、または感銘を受けた本は?

A. 映画はアクション系のものが好きです。本の著者はカレル・ヴァン・ウォルフレンのものが考え方方に影響を及ぼしていると思います。



## 見逃さないで! 心疾患のサイン

「急いで歩くと胸が苦しくなる」「横になると苦しくなり、よく眠れない」などの症状はありませんか?

これらの症状は、狭心症や心不全の可能性があります。狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患は、年々増加傾向にあります。

突然死の一つである虚血性心疾患は冠動脈の動脈硬化によって起こります。

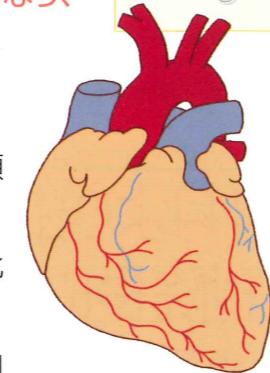
喫煙や肥満などの生活習慣、高血圧・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病により、冠動脈の動脈硬化は進み狭心症などを悪化させる一方、心筋梗塞や心不全を引き起します。

このような虚血性心疾患には、飲み薬だけではなく早期にカテーテル治療が必要です。当院ではこのカテーテル治療を年間262件実施し、数多くの実績を誇っています。

最新鋭の64列マルチスライスCTや運動負荷心電図、心エコーを実施し、心疾患のサインを見逃さず、必要であれば24時間カテーテル治療ができる準備をしています。

心配の方はかかりつけの先生にご相談の上、紹介状をお持ちになり受診ください。

治療後は症状の落ち着いた患者さまを積極的に地域開業医さまにご紹介して、地域一体となって治療することを目指しております。



循環器科 篠崎 雅人



## A2階(循環器病棟) 配属:前平和也さん (20歳)

- 看護師を目指したきっかけは?  
→小学3年生の頃、祖母が癌で入院していて、献身的に看護する看護師さんを見て、自分も人の役に立ちたいと思ったからです。
- 今の仕事内容は?  
→指導の先輩看護師付いて、心臓カテーテルの準備やカテーテル施術後の患者さんのケア、点滴のチェックなど病棟の基本的な流れを教わりながら行動しています。
- 実際に働いてみての感想は?  
→思ったように身体が動かず、不安が多いけど、努力して頑張っていきたいです。
- どんな看護師になりたい?  
→常に患者さまの立場に立って考



先輩看護師に患者さまの情報を伝えて相談しているところ

- 看護師ができる優しい看護師!
- ストレス解消法(リフレッシュ法)は?  
→寝る zzz
- 出身地は?  
→鹿児島県
- 好きな食べ物は?  
→ラーメン
- A2階三原師長よりメッセージ  
→患者さまの気持ちが分かり、寄り添える看護ができるような看護師になってください。



患者さまより体調の変化を伺っている前平さん

- 看護師を目指したきっかけは?  
→祖母が看護師で昔の仕事の話が楽しかったのがきっかけで、実際に看護の勉強を始めて、専門職といえる仕事がしたいと思ったからです。
- 今の仕事内容は?  
→先輩の後を追いながら1日の業務の流れを把握しています。技術的なことはもちろん、ケアを通しての患者さまとの関わり方も学んでいます。清潔ケアや経管栄養の準備から後片付けはできるようになりました。
- 実際に働いてみての感想は?  
→報告・連絡・相談の重要性や毎日の経験と勉強の積み重ねの必要性を改めて考え

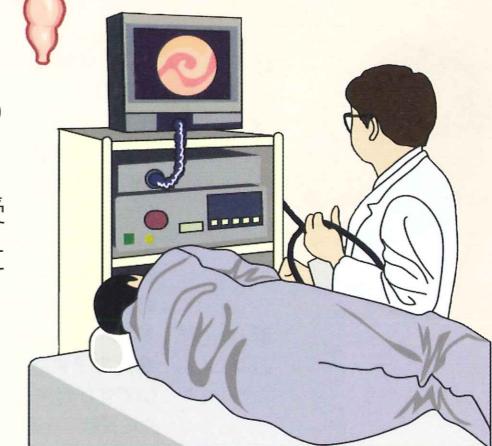


患者さまに点滴をしているところ

## がんばる新入職員 看護師編

## 中央5階(内科病棟) 配属:柴田知佳子さん (23歳)

**【受診科について】**  
消化器外科・消化器内科どちらの科でも構いません。  
**【内視鏡の料金】**(保険割合3割負担の方)  
胃カメラ ..... 5,000円~20,000円  
大腸カメラ ..... 5,000円~35,000円  
\* 検査の内容によって料金が違います。



先輩看護師の指導のもと、点滴のミキシングをしている柴田さん

## 大腸がん～私は大丈夫!って思っていませんか?～

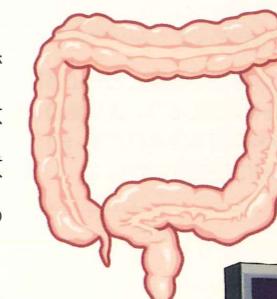
大腸がんの死亡者数は、この20年で2倍以上に増え続け、現在では女性のがん死亡原因の1位となっています。

2020年までの予測では肺がん、胃がんを抜き、男女を合わせた日本人のがん罹患率(りかんりつ)の1位になっています。

大腸がんは、検診によって早期発見できればほぼ完治できる病気です。しかし、現在の日本人全体の検診受診率はずっと約18%台と低迷。初期の段階にはほとんど自覚症状がないことも、大腸がんの早期発見を遅らせる原因となっています。

当院は消化器外科・消化器内科で連携し、早期発見を目指して約6,000件/年の「辛くない」内視鏡検査(上部・下部)を施行し、約650件/年の消化器系疾患の手術を行っております。

「私は大丈夫!」と自信を持って言えるように、気になる方はぜひ受診してください。特に他の病院で検査が「辛かった」方はぜひ当科に受診してください。



外科 石田 康男